

# 日坂小学校・東山口小学校統合後の通学支援に関する保護者説明会 議事録

日時	令和7年9月4日(木) 19:30~20:55
場所	日坂小学校3階 6年生教室
出席者	日坂小学校保護者 21名(在校生保護者13名、未就学児4名、地区ほか4名) 事務局 学校再編係長、学校再編係主任 日坂小学校 校長、教頭、教務主任
内容	
1 開 会	
2 統合準備委員会の通学部会と遠距離通学支援について事務局より説明	
<p>&lt;保護者意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 統合の年に、自分の次女が6年生になり、その下の子が入学する。古宮と下町には、統合時に高学年となる子が2人程度しかいない。高学年が減り、低学年が増えるという状況で、長い道のりを歩いて登校することに不安を感じる。また、夏場の猛暑の中、徒歩で通学することに不安を感じる。保護者が付き添うことができれば良いが、働いている保護者が、東山口小学校までの長い距離を交代で見守ることは難しいと思う。通学路の道中での支援は手厚くなるのか。やはりバス通学を検討して欲しい。</li> <li>→登校時だけでなく、下校時も課題があると感じている。学年ごとに下校時間が異なるため、より少ない人数で帰宅することになる。そのような状況で、長時間に渡って下校の支援員を配置することは難しいのではないかと思う。</li> </ul> <p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 通学支援を考える上で、様々な課題があると思うので、それを今日の説明会で聞かせていただければと考えている。</li> <li>原田地区の場合には、最終的に3km以内のお子さんも通学支援の対象とした。3kmの基準から全く譲歩しないというわけではないことを御理解いただきたい。</li> <li>■ 先日東山口小学校での保護者説明会では、「東山口地区でも池下や海老名など遠くから通っている児童がいる。日坂の通学支援を考える上では、公平性にも配慮して欲しい。」という意見が出た。教育委員会としては、市全体を見て考えなくてはいけない部分もある。</li> </ul> <p>&lt;保護者意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 小学校低学年の歩行速度を分速50mとして基準を設定しているが、おかれた状況によって、条件が異なるはずだ。特定の地区の事例だけを取り上げて算出することは、正確性に欠けるのではないか。</li> <li>■ 財政面の課題を挙げているが、日坂小学校が閉校により予算に余裕ができるので、通学支援を充実できるはずだ。</li> <li>■ 事任八幡宮前の交差点付近で、野生動物の目撃情報が増えていて、宿場までは来ていないが、子どもたちには近づかないように言っている。また、この箇所は雨天時に鉄砲水のおそれがある。そのため、通学路として子どもを通わせることに不安を感じる。</li> <li>■ 8時から学校活動が始まると、通学に1時間かかるということは、支度等も考えると7時前に家を出なければならない。入学したばかりの1年生が、時間に余裕をもって学校に着くことができるのか不安だ。また、同級生が少なく、大人数で下校できる安心感も無い。日坂小学校では、先生方が5月頃まで1年生の下校を見守ってくれていたため、安心して帰宅することができていた。しかし、統合後に同じ対応をしていただくと、先</li> </ul>	

生方の負担が大きくなる。

- 古宮に住む中学生は、自転車で通学している。中学生の自転車通学の基準は2kmだが、なぜ小学生は、それよりも長い距離を歩かなくてはいけないのか。  
→自転車通学の基準を2kmとしている正確な理由は不明である。ただし、小学生が自転車で通学することは、基本的に危険である。荷物の重さや部活動などを考慮した上で、中学生であれば安全に自転車を利用する注意力があると判断され、許可されている面がある。中学校の基準を変更することは難しい。
- 3kmという距離を小学生が歩けるのなら、中学生も歩けるはずだ。今後、中学校では部活動が無くなり、下校時間が早くなる。状況が変化しても、中学校の自転車通学の基準が変わらないのであれば、小学生についても、新しい通学支援の制度を考えて欲しい。  
→財政的に、全ての学区で通学基準を緩和することは難しい。
- この地域は、何かあった時に子どもたちが駆け込める場所が、市街地に比べて少ない。全市一律の基準を設けることは難しいのではないか。
- 自営業をしているが、自分の店に子ども110番の旗を掲げている。以前、下校時に不安を感じた子が駆け込んできたことがあった。市街地なら、街灯が設置されていたり、人通りが多かったりすると思うが、山間部や郊外では、1人で帰らなければならない子も多い。それをストレスに感じている子がいるということも知っていただきたい。
- スクールバスを2往復にして、池下や海老名に住む東山口地区の子も乗せてあげれば良いのではないか。スクールバスであれば、乗車時間や集合場所を柔軟に決められるはずだ。財政的な課題があると思うが、少子化が進んでいる中で、子どもたちを大事にする必要があるはずだ。  
→スクールバスを2往復運行することは可能だ。ただし、市全体の視点で考えると、路線バスの活用を検討する必要もある。
- 朝の時間帯は、中学生の通学で路線バスが混雑している。路線バスの活用は大切だと思うが、乗車定員の都合で小学生が利用できないという事態は発生しないのか。バスの利用者数を把握しているのか。  
→1学期に路線バスの乗降調査を行った。荷物を置くために2席利用する中高生もいたが、座席に余裕があると感じた。ただし、小学校までの距離がそこまで長くないため、小学生が立って乗車しても問題ないと考えている。中学生の中には、後から乗車した小学生に席を譲る子もいた。その辺りは、学校や家庭での呼びかけ次第だと思う。
- 日坂地区の方から、「小学校が無くなることで、子どもたちの声が聞こえなくなることが寂しい」という意見が出ていた。日坂小学校を集合場所にすれば、朝と帰りに子どもたちの声が聞けるため、そのようなことを検討しても良いのではないか。  
→学校に近い保護者とそうでない保護者で意向が変わるのではないかと思う。通学支援の対象者を確定した後に検討する。
- 原田地区の子ども全員がバス通学になった経緯を教えて欲しい。  
→大きな要因は、バス通学対象外の児童が少なかったことである。統合初年度は、徒歩通学となる児童は9人しかいなかった。下校時は、学年や学童の都合により、さらに少人数になるため、防犯上の課題があると判断した。
- 徒歩通学の子でも、学童に通う場合は、バスで下校することになるのか。日坂小学校は、東山口小学校から3km未満の場所にある。学童に通うか否かで、帰りの手段がバスと徒歩に分かれるのは、不公平ではないだろうか。

→学童の対応については、バス通学の対象を決めた後に検討する。

- 自分の子が来年度に入学する。学校に慣れた頃に統合するため、不安に感じると思う。また、人数が少ないため、誰かが欠席すると、さらに少ない人数で長い距離を歩いて登校しなければならない。子どもが心配なので、全員をスクールバスで通学させて欲しい。低学年で統合を迎える子どもたちの気持ちを考えて欲しい。
- 通学支援の基準は、通学班の人数も考慮して検討するべきだ。少人数で、低学年ばかりの通学班が、バイパスなど交通量の多い道路を歩くことは危険だと思う。
- 高学年が少なく、低学年が多い状況で、自分の子どもに低学年を見守るという責任を負わせることが不安だ。人数が多かったり、他の通学班と途中で合流できたりするのであれば、負担が分散されるが、そのような状況ではない。高学年の子どもたちに責任を負わせるのは違うのではないか。
- バスに乗っている時間が、日坂・東山地区の子どもたちの交流の場になると思う。古宮と下町の子が排除されてしまうのは良くない。顔なじみのメンバーで登校することで、新しい環境に飛び込む勇気に繋がるのではないか。
- 事任八幡宮から道の駅前の交差点までに整備されている歩道が狭い。この区間を小学生が歩いて通学すると、自転車で通学する中学生が避けるために車道に出ざるを得ない状況が生じ、危険である。また、小学生と自転車が接触する可能性もある。小学生全員がバス通学になれば、そのような危険性が減るのではないか。
- 通学路に日影が少ない。夏場の猛暑の中、子どもに長距離を歩かせることが心配だ。
- 自分の子どもが路線バスで通学している。家からバス停まで、歩いて15分以上かかる。発車時間に間に合わせるため、朝の早い時間から準備しなければならない。また、バス停から自宅までが急な坂道であるため、子どもの負担にならないように学童に通わせている。「路線バスが通っているので、東山地区はそれを利用してください」という対応ではなく、スクールバスの導入を検討して欲しい。
- 東山地区の保護者だが、各家庭からバス停までの距離には5分の子もいれば30分以上、の子もいてばらつきがある。バス停までの距離を考慮した上で、路線バスでの通学かスクールバスでの通学か検討していただくと助かる。

<太田教頭>

- 最後に何か話したいことがある人はいますか。

<日坂まちづくり協議会 小野事務局長>

- バス通学の問題について要望書をまとめることは、安全安心な教育環境を整えるという面で、地域の宝である子どもたちに対する責務だと感じている。皆さんの意見を文字に起こし、要望書として市に提出したいと考えているため、今日出された意見を、統合準備委員会の部会で検討していきたい。もし、保護者や子ども目線で不安に感じる事があれば、伝えていただきたい。

<太田教頭>

- たくさんの意見を出していただき、ありがとうございます。今日出された意見を、今後の検討に生かしていただければと思う。